

市長記者会見記録

日時：2023年2月21日（火）14時00分～14時07分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

<内容>

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。それでは、早速質疑に入りますが、進行は幹事社の方によろしく願います。

《市政一般》

《ウクライナからの避難者への対応について》

【NHK（幹事社）】 幹事社のNHKです。よろしくお願いします。もうすぐウクライナへの軍事侵攻から1年となりますけれども、市内の避難者の状況と、その避難者の状況への受け止め、それから今後必要とされる支援を教えてください。

【市長】 現在、川崎市内では2世帯3名の方が市内に避難をされているという状況でありまして、これだけ避難が長期化していきますと、いわゆる市営住宅だとか、そういった長期に住んでいくところといった相談が多くなってきていると聞いておりますので、そういったことにもしっかりと対応してまいりたいと思っています。

【読売（幹事社）】 同じく幹事社の読売新聞です。よろしくお願いします。同じくウクライナの関係なんですけれども、今、川崎市内には3名の方が避難されているということで、県内の他自治体ですと、横浜市が106人などと結構多くて、続いて茅ヶ崎市の7人とか随分違いはあるんですけれども、自治体の規模等を考えると、あとキャパなどを考えますと、横浜の106と川崎の3の違いがちょっと単純に気になってしまうんですけれども、これはなぜなのでしょう。

【市長】 いや、どういうことなのでしょうね。分かりません。ちょっと姉妹都市の関係とかというのがあるんでしょうか。その辺りは、ちょっと僕も分析はしていないので分からないんですけれども、必要な対応はしっかりやっていきたいと思えます。人数の多寡にかかわらずという形になりますけれども。

【読売（幹事社）】 受入れ支援の難しさなんていうものもあるんでしょうかね。

【市長】 受入れの難しさですか。

【読売（幹事社）】 はい。

【市長】 うーん、いえ、何かそういうことだとは私の耳には入っておりませんけれども。

【読売（幹事社）】 あとは、ロシアのウクライナ侵攻による市内の経済とか産業への影響は、今どのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

【市長】 経済労働局でもいろいろ市内事業者の皆さんに聞き取りをしていますけれども、特段影響はないと聞いております。

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。

各社、皆さんお願いします。

《トルコ・シリア地震に対する支援について》

【東京】 すみません、東京新聞なんですけれども、トルコとシリアにまたがった大きな地震がありましたけれども、今現在、川崎市として、何かトルコとかシリアの被災者に向けて、何か支援とか取組を考えていらっしゃるのなら教えていただけるとありがたいのですが。

【市長】 本日ですけれども、日本赤十字社川崎支部という形での募金をさせていただいて、その募金箱を市役所あるいは各区の区役所、支所に設置をさせていただきました。

川崎市役所、行政としてという独自の取組というのは、現時点では考えておりません。

【東京】 これまでウクライナ支援という形で、同じような形でやっていたと思うんですけれども、それと2つ並行して市役所ですとか各区役所でやっていくという形になるのか、ウクライナは一旦締めて、トルコ、シリアに向けて始めるという形なのか、どういう形になるのでしょうか。

【市長】 同時並行だと考えています。

【東京】 とりあえず、トルコ、シリアに対しても締切りは設けずに集めていくという。

【市長】 トルコのほうですね。

【東京】 はい。

【市長】 現時点では、少々お待ちください、設置期間、当面ですけれども、5月31日までと当面は考えております。

【東京】 担当は地ケアとかですか。

【市長】 はい、地ケアのところですね。地ケア室です。

【東京】 了解しました。ありがとうございます。

【司会】 ほかに質問はございますでしょうか。よろしく申し上げます。

【市長】 どうぞ。

《幼児等送迎バス車内に設置される装置について》

【t v k】 テレビ神奈川です。補正予算について1つお伺いしたいんですが、幼稚園、保育園などの送迎バスの安全装置の補助が盛り込まれていると思います。これは国からの義務ということで、国庫で盛り込まれているわけですが、改めて、必要性、問題点について、市長のお考えを一言お聞かせください。

【市長】 はい。まず大前提として、子どもの安全、見守りというのはしっかり、命に関わることですから、まずはしっかりやっていただく。あくまでも補助として、そういった機器の設置だと思っていますので、あまり機器に頼り過ぎるというのは根本からずれてしまうと思っています。そのことはしっかりと、事業者の方は分かっていると思います。機器だけに頼り切るといったことはないように、まず子どもの命を自分たちでしっかりと見守って、安全を確保するというのをやっていただく。しっかり、その補助と捉えていただければありがたいかなとは思っております。

【t v k】 今回、一律に備えるということで、ベースアップのような形になるのかなと思うんですが、基準を一つ高めるといふ狙いという理解でよろしいですか。

【市長】 あ、ごめんなさい……。

【t v k】 一律に備えをしていただくということで。

【市長】 そうですね、はい。基本的には一律にという形になりますので、そういった意味では、より安心感が高まるのではないかなと思っています。

【t v k】 ありがとうございます。

【司会】 ほかにございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして本日の市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)2355